

分類	内容	事業団が取り組む具体的内容
資質の向上	働きながら介護福祉士等の資格取得を目指すものに対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス管理責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援(研修受講時の他の福祉・介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む。)	社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士等、国家資格取得のためのスクーリングや実習期間の就業義務の免除とし、資格取得の推進を図っている。また、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等、各施設の支援の特色にあった資格取得を推進しています。
	研修受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	職種、階層に応じた内部研修の研修派遣、キャリアに応じた研修企画などキャリアアップできる研修体系を整備しています。
労働環境・処遇の改善	雇用管理改善のための管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実	労働・安全衛生法に基づく、休暇、休職等、福利厚生制度の充実を図っています。
	福祉・介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入	特殊浴槽の設置、介護リフトの設置など腰痛対策を行うとともに、各種システムの導入による業務軽減にも取り組んでいます。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備	育児休業、介護休暇等休暇制度の充実を図り、「やまがた子育て・介護応援いきいき企業」優秀(ダイヤモンド)企業の認定を受けています。
	ミーティングなどによる職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	職場内においての朝会、支援会議、部署ごとのミーティング、ケース検討会等、コミュニケーションの円滑化、業務の活性化が図られるよう取り組んでいます。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化	各施設において、食事、服薬、利用者間のトラブル等、必要に応じて支援マニュアルを整備しています。
	健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備	年1回の健康診断を実施するとともに、ストレスチェック、心の健康づくり推進計画を作成し、職員が心身ともに健康で働ける環境づくりに努めています。
その他	障害・介護サービス情報公表制度の活用による経営・人材育成理論の見える化	障がい・介護サービス共に情報公表制度及び法人ホームページを活用して経営状況の開示と研修制度を公表し見える化を図っています。
	障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフト配慮	障がいに応じた作業内容や時間の設定や障害者職業生活相談員の配置を推進するなど、障がいのある方の働きやすい職場環境づくりに努めています。
	非正規職員から正規職員への転換	毎年、正規職員採用試験を受験する機会を与え、積極的な採用を行っています。